

2022年3月期第3四半期 (FY2021 3Q) 決算概要

2022年2月2日

千代田化工建設株式会社



I 決算概要

II 成長戦略トピックス

III 主要遂行中案件

I 決算概要

1 ハイライト

1.

業績は通期予想に対して順調に進捗

2.

- 米国大型エチレン案件の早期完工を達成
- リスク感度を高めて手持案件は着実に進捗
- 成長分野の取り組みも加速

2 損益計算書

(単位:億円)

	FY2020 3Q	FY2021 3Q	増減	FY2021 通期予想*2	進捗率
完成工事高	2,430	2,171	△259	3,000	72%
完成工事総利益	155	169	14	260	65%
完成工事総利益率	6.4%	7.8%	+1.4pt	8.7%	—
販売費・一般管理費	△94	△86	8	△150	57%
営業利益	61	83	22	110	75%
経常利益	62	88	26	90	97%
純利益*1	65	△137(注)	△201	△140	N.A.
為替レート(円/米ドル)	104	115		111	

(注) 純利益の四半期毎内訳

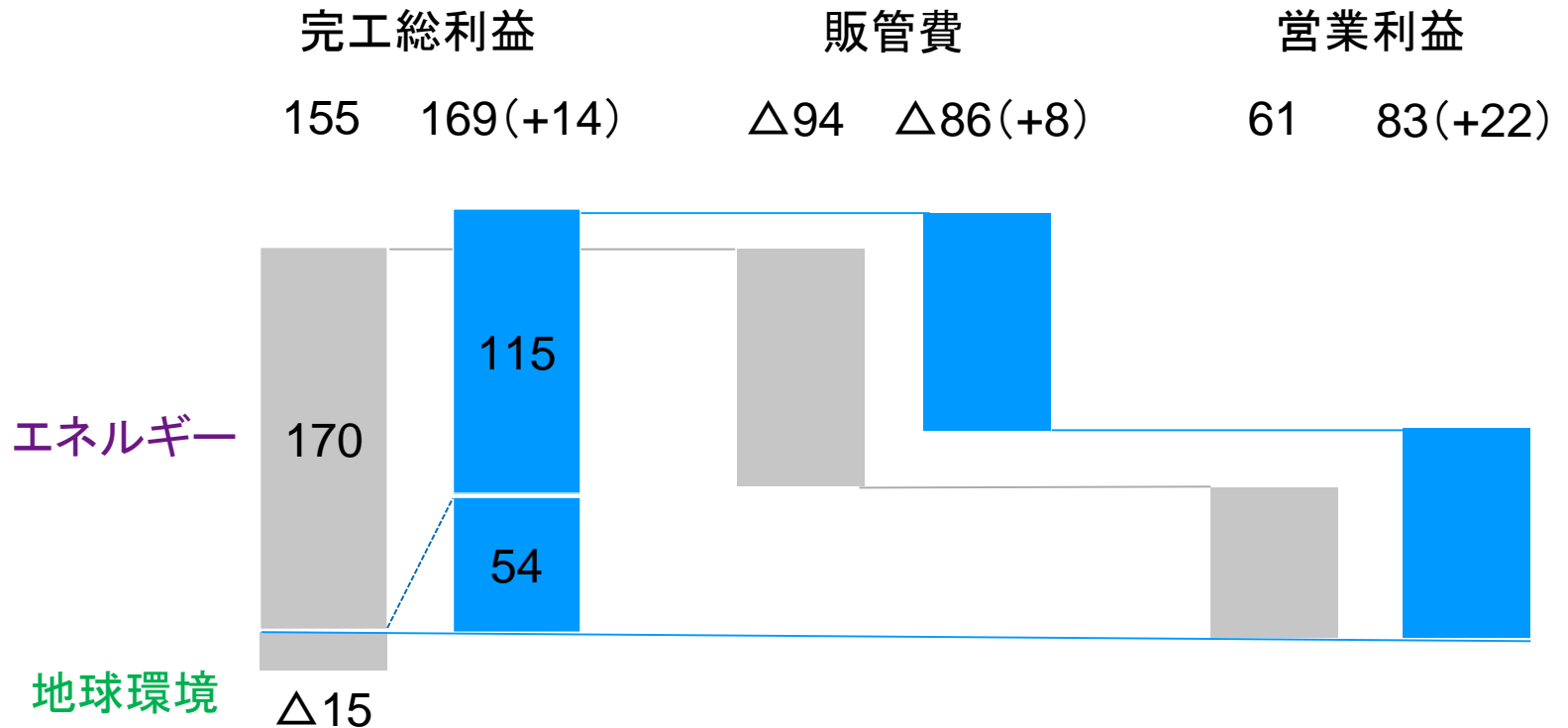
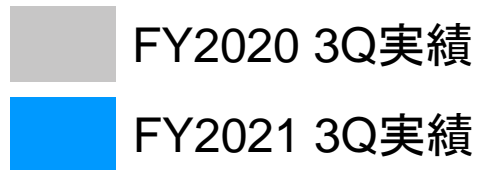
- ① 1Q: △172億円(完工済み案件イクシスLNGプロジェクトで特別損失△204億円を計上したため)
- ② 2Q・3Q合計: 35億円

*1 親会社株主に帰属する当期純利益

*2 2021年7月30日修正後

3 利益増減分析

(単位: 億円)



()内: FY2020 3Q実績比増減

4 バランスシート

(単位:億円)

	FY2020 4Q末	FY2021 3Q末	増減		FY2020 4Q末	FY2021 3Q末	増減
流動資産	3,059	3,213	154	流動負債	2,447	2,803	357
現金・預金等	1,070	873	△197	支払手形・工事未払	1,152	932	△220
営業資産*1	573	543	△30	未成工事受入金	748	1,054	306
未収入金	773	765	△8	工事損失引当金	344	345	1
JV持分資産*2	568	929	361	未払金	42	382	340
固定資産	158	149	△9	固定負債	482	482	0
投資等	79	79	0	純資産	367	155	△212
総資産	3,296	3,441	145	負債・純資産	3,296	3,441	145
				自己資本	364	152(注)	△212
				自己資本比率	11.0%	4.4%	△6.6pt

(注) 1Q末に124億円に減少後(特別損失計上のため)、3Q末で28億円改善

*1 営業資産＝受取手形・完成工事未収入金及び契約資産＋未成工事支出金

*2 JV持分資産＝ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金

5 受注高・受注残高

(単位:億円)

	FY2021 3Q 受注高	FY2021 3Q末 受注残高
エネルギー分野	366	9,098
地球環境分野	3,564	4,125
合計	3,930*	13,223

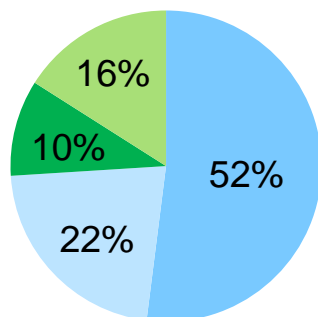
*受注高は通期予想3,000億円に対して進捗率131%

受注残高主要案件	1,000億円以上	100億円以上
エネルギー分野	カタールNFE LNG 米国ゴールデンパスLNG	インドネシア・タンゲー LNG
地球環境分野	インドネシア銅製錬	ワクチン原薬製造設備 蓄電池システム

(単位:億円)

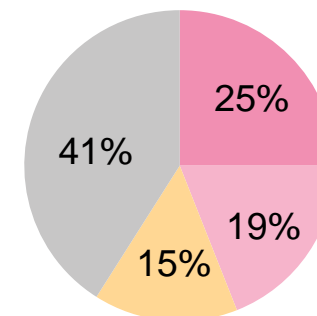
【FY2021 3Q】

分野別



エネルギー	1,600
■ LNG・その他ガス関係	1,130
■ 石油・石油化学	470
地球環境	571
■ 医薬・生化学・一般化学関係	219
■ 環境・新エネルギー・インフラ・その他	353
合計	2,171

地域別

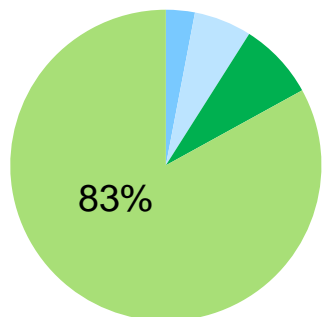


海外	1,278
■ 中近東・アフリカ	548
■ 北中南米	403
■ アジア・オセアニア	327
■ その他海外	0
■ 国内	893
合計	2,171

(単位:億円)

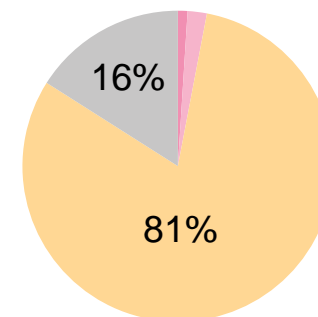
【FY2021 3Q】

分野別



エネルギー	366
■ LNG・その他ガス関係	112
■ 石油・石油化学	254
地球環境	3,564
■ 医薬・生化学・一般化学関係	295
■ 環境・新エネルギー・インフラ・その他	3,269
合計	3,930

地域別

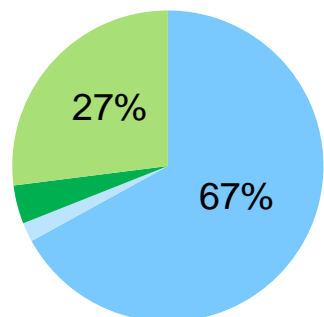


海外	3,287
■ 中近東・アフリカ	31
■ 北中南米	89
■ アジア・オセアニア	3,166
■ その他海外	0
国内	643
合計	3,930

(単位:億円)

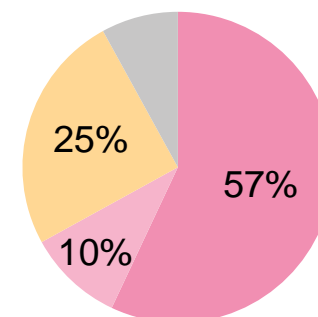
【FY2021 3Q末】

分野別



エネルギー	9,098
■ LNG・その他ガス関係	8,806
■ 石油・石油化学	292
地球環境	4,125
■ 医薬・生化学・一般化学関係	507
■ 環境・新エネルギー・インフラ・その他	3,618
合計	13,223

地域別



海外	12,134
■ 中近東・アフリカ	7,510
■ 北中南米	1,333
■ アジア・オセアニア	3,291
■ その他海外	0
■ 国内	1,089
合計	13,223

Ⅱ 成長戦略トピックス

世界最大規模のエチレンプラントの早期完工を達成



Courtesy of Gulf Coast Growth Ventures

インドネシア プルタミナ社と脱炭素分野での 共同技術開発・応用に関する覚書を締結

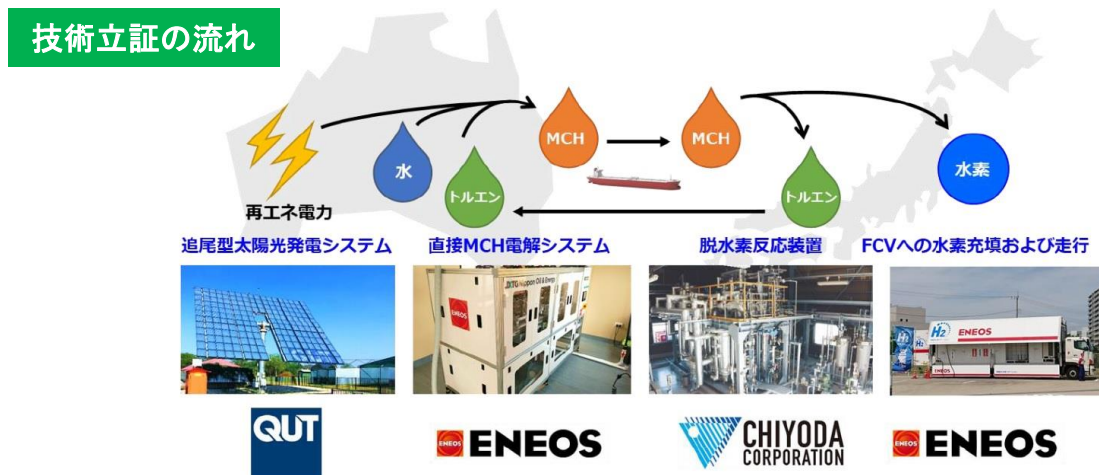


インドネシアで開催されたB20タスクフォースイベント*でのオンライン調印式風景

* 2022年10月にインドネシアで開催予定のG20サミットに先がけて行われたインドネシア官民によるビジネスサミット

グリーン水素の実証レベルの技術検証への協力 ～燃料電池車への充填に成功～

- ENEOS(株)、クイーンズランド工科大学との産学連携による直接MCH^{*1}電解合成法^{*2}による豪州産CO₂フリー水素サプライチェーン実証の規模拡大(トヨタ自動車のFCV“ミライ”のタンクを満タンに出来る水素量を充填、世界初)の実証に参画。
- 当社は脱水素反応技術^{*3}によるMCHから水素の取り出し及び水素の精製を担った。
 - ^{*3} 独自技術により開発した脱水素反応装置と触媒を使用、水素の収率が非常に高い。

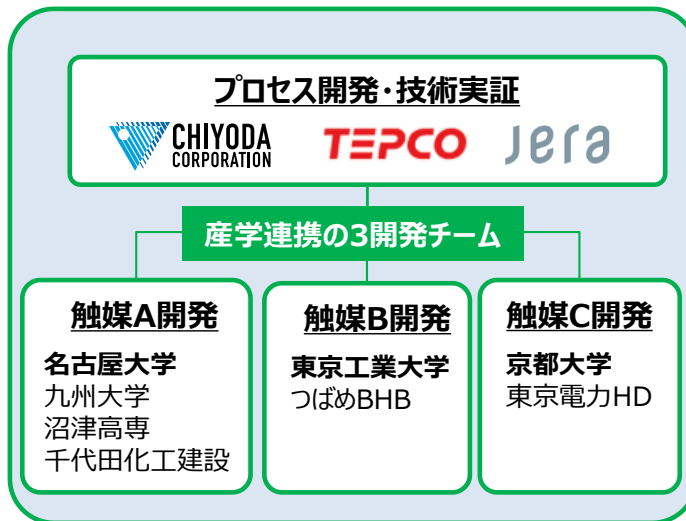


^{*1} 水素ガスの500分の1の容積で常温常圧の液体。輸送・貯蔵等取り扱いが容易。

^{*2} ENEOS(株)の登録商標

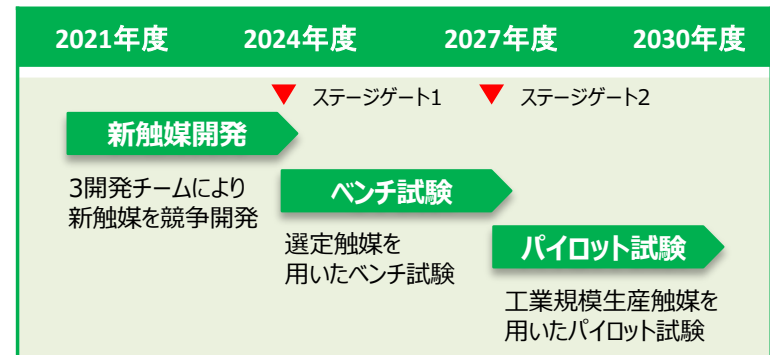
アンモニア製造新触媒の開発・技術実証を開始 ～NEDO*のグリーンイノベーション基金事業～

- 東京電力ホールディングス(株)、(株)JERAとの3社コンソーシアムで共同実施。
- 国産技術(低温低圧化プロセス)を開発、製造コストの低減の実現を目指す。
- 燃料アンモニアのサプライチェーンの構築に貢献する。



- 総事業費:240億円規模
- 事業期間:2021年度～2030年度の10年間

＜開発・技術実証スケジュール＞



*国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

連続生産技術の知見を、医薬品分野で展開

- シオノギファーマ(株)が推進する、世界初の原薬・中間体の連続生産受託事業に参画。
- 当社は石油化学分野で培った「連続生産技術」を医薬品分野で実装化し、水平展開を目指す。

医薬品分野

「連続生産技術」を
新たな分野で展開

石油化学分野

当社の医薬品分野実績
➤ 60年以上、620件超



顧客との連続生産技術検証の様子

6 デジタルトランスフォーメーション

最先端デジタル技術を活用し、プロジェクト遂行管理を精緻化・高度化

Chiyoda AWP*の実装強化

全てのワークをパッケージ化し、設計から完工・引き渡しまで、タイムリーに進捗状況を「見える化」、デジタルで統合管理することにより、**プロジェクト遂行力を強化する**

【EPC全体の最適化】

どこにどのような工事がどれだけあるかを
ワークパッケージで定義して
それに対する設計・調達の進捗を可視化

コスト・スケジュール
の予測精度の向上

現場で起きうる
“無駄”を防止

納期遅延の防止、コスト削減

【統合管理画面のサンプル】



*Advanced Work Packaging

Ⅲ 主要遂行中案件

1

主要遂行中案件(エネルギー分野)

案件	インドネシア・タンゲーLNG ^{*1}	米国・ゴールデンパスLNG ^{*2}	カタール・NFE LNG
顧客	BP Berau Ltd.	Golden Pass LNG (ExxonMobilとQatarEnergyのJV)	QatarEnergy
パートナー	Saipem, Tripatra	Zachry, McDermott	Technip Energies
納期	2022年	2025年	2027年
遂行状況	建設工事を遂行中	設計・調達業務並びに現場工事を遂行中	<ul style="list-style-type: none"> 設計・調達並びに工事計画業務を遂行中 HAZOP* Studyを2021年11月に完了



* Hazard and Operabilityの略、化学プロセス産業における安全性及び運転性評価の標準手法

2

主要遂行中案件(地球環境分野)

国内案件	ワクチン原薬製造設備	蓄電池システム*1	インドネシア銅製錬プラント
事業分野	ライフサイエンス	エネルギーマネジメント	非鉄金属
顧客	塩野義製薬(株)	北海道北部風力送電(株)	P.T. Freeport Indonesia
納期	2022年	2023年1Q	2024年
遂行状況	1ラインの増設、付帯設備のEPC業務を遂行中	建設工事を遂行中	設計・調達並びに現場工事を遂行中



*1 蓄電池システム外観(全景)



*1 蓄電池システム内観

Energy and Environment in Harmony



千代田化工建設株式会社 総務部IR・広報・CSR セクション <https://www.chiyodacorp.com/jp/>

この資料には、事業戦略・本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。